

令和3年 10月～12月期 作州津山商工会管内景況（DI）調査

調査方法 専用ホームページ及び経営指導員による訪問調査

対象企業 作州津山商工会管内の小規模事業者 120事業所

製造業	建設業	卸小売業	サービス業	合計
24	31	29	36	120

調査結果の概要

<全体 ～令和3年第三四半期と同様に悪化傾向、引き続き厳しい状況～>

第三四半期（前回調査）と同様に厳しい状況にあります。

売上・採算・資金繰りはマイナス水準ではあり、加えて第三四半期に比べると仕入・採算の悪化が一層顕著です。今後の見通し（令和4年1～3月）は売上・資金繰り・採算で悪化が懸念されています。

<製造業 ～見通しでは採算で悪化予想、仕入単価上昇が大きな課題～>

売上DIは▲8.3（前回▲29.2）、採算DIは▲33.3（前回▲25.0）、資金繰りDIは▲12.9（前回▲25.0）となりました。今後の見通し（令和4年1～3月）は売上DIはゼロ水準、採算DIは悪化緩和、資金繰りDIは悪化緩和の見込みにあります。

<建設業 ～見通しでは総じて好転予想～>

売上DIは▲19.4（前回3.2）、採算DIは▲41.9（前回▲3.2）、資金繰りDIは▲12.9（前回3.2）となりました。

今後の見通し（令和4年1～3月）は売上DIは悪化維持、採算DIは悪化、資金繰りDIは悪化の見込みにあります。

<卸・小売業 ～売上・採算で引き続き厳しい水準、見込みも同様の予想～>

売上DIは3.4（前回▲13.8）、採算DIは▲3.4（前回▲20.7）、資金繰りDIは10.3（前回▲17.2）となりました。

今後の見通し（令和4年1～3月）は売上DIは悪化、採算DIは悪化、資金繰りDIはゼロ水準の見込みにあります。

<サービス業 ～採算で引き続き厳しい水準、今後の見通しは横ばい～>

売上DIは▲19.4（前回▲11.1）、採算DIは▲19.4（前回▲27.8）、資金繰りDIは19.4（前回▲11.1）となりました。

今後の見通し（令和4年1～3月）は売上DIは悪化、採算DIは悪化、資金繰りDIは悪化緩和の見込みにあります。

<業種別業況>

業種を問わず多くの調査項目でマイナス水準にあります。

<時系列比較>

売上DIは前期は回復傾向にありましたが再び悪化しています。

採算DIはマイナス水準の中で引き続きその動きは低迷しています。

資金繰りDIは一時期弱い回復傾向にありましたが再び悪化しています。

<業況変化の要因>











販売や受注が増加したことで業績が向上している事業者があります。

ただし、多くは新型コロナウイルスの影響により販売・受注減が大きく影響しています。

また、悪化の要因として仕入単価の上昇が大きくなっています。

～業種別比較表～











○製造業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和2年10月～12月	天気図					
	D I	-8.3	-41.7	-33.3	12.5	-20.8
来季（見通し）比較 令和4年1月～3月	天気図					
	D I	0	-8.3	-8.3	8.3	-4.2










○建設業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和2年10月～12月	天気図					
	D I	-19.4	-48.4	-41.9	12.9	-12.9
来季（見通し）比較 令和4年1月～3月	天気図					
	D I	-12.9	-19.4	-25.8	9.7	-16.1

○小売業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和2年10月～12月	天気図					
	D I	3.4	-37.9	-3.4	6.9	10.3
来季（見通し）比較 令和4年1月～3月	天気図					
	D I	-13.8	-27.6	-17.2	3.4	0

○サービス業

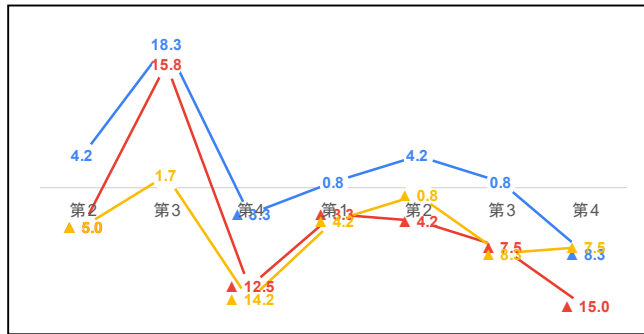
比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和2年10月～12月	天気図					
	D I	-19.4	-30.6	-19.4	16.7	-19.4
来季（見通し）比較 令和4年1月～3月	天気図					
	D I	-5.6	-19.4	-8.3	11.1	-8.3

～天気図の指標～

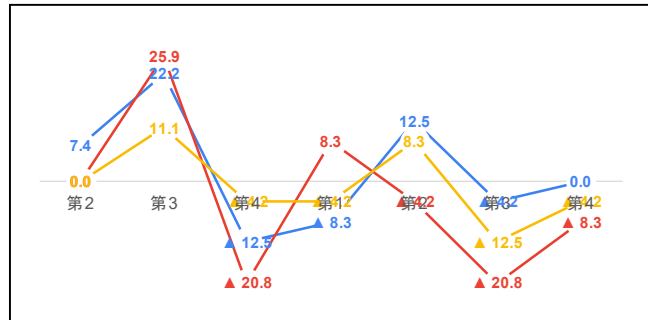
状 況	快晴	晴れ	曇	雨	雷
天気図					
D I	30～	10～	0	-10～	-30～

～グラフによる今後の見通し～

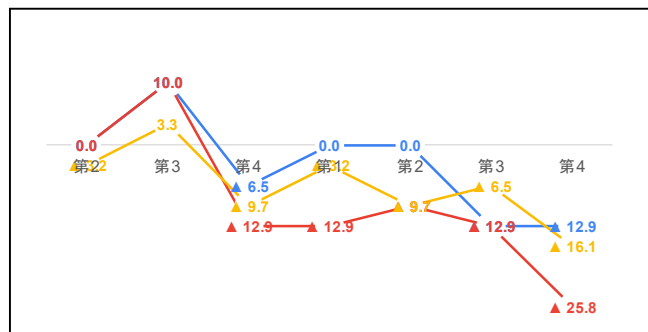
◎全体の売上・採算・資金繰り見通し



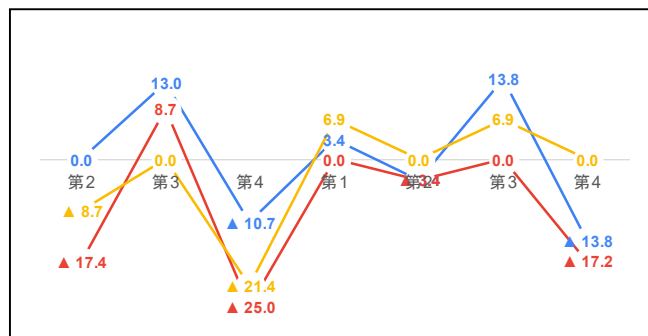
◎製造業の売上・採算・資金繰り見通し



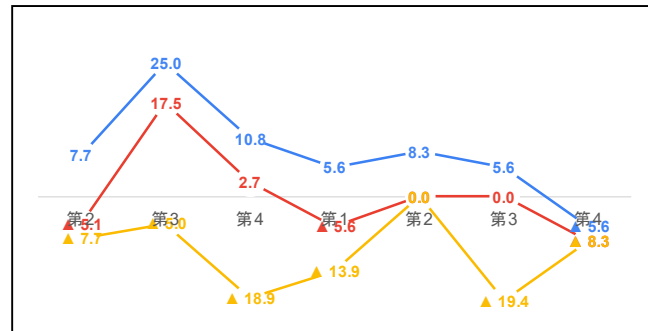
◎建設業の売上・採算・資金繰り見通し



◎卸・小売業の売上・採算・資金繰り見通し



◎サービス業の売上・採算・資金繰り見通し

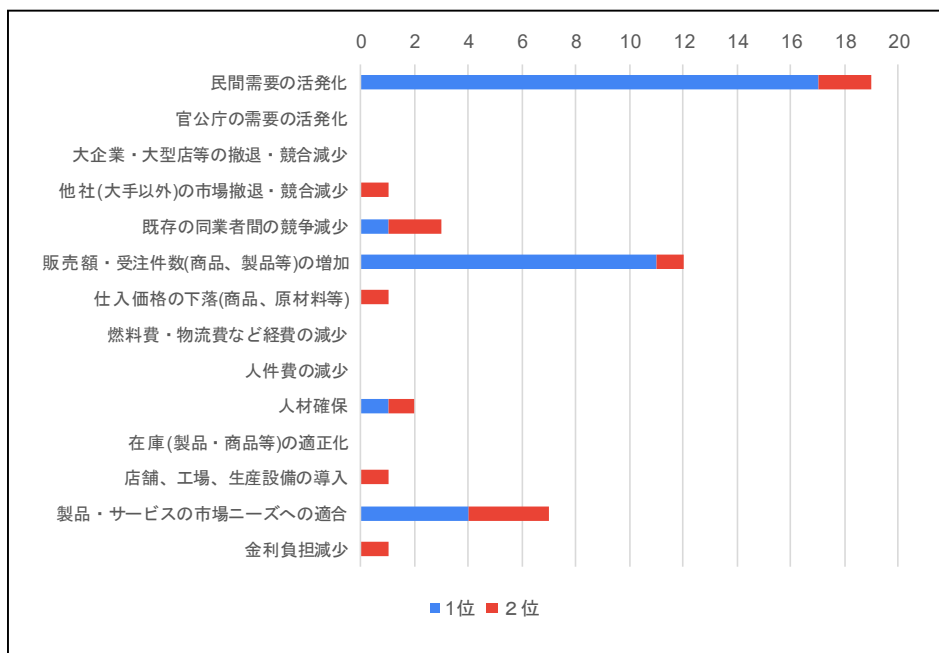


— — 売上見通し — — 採算見通し — — 資金繰り見通し

○業況変化の要因

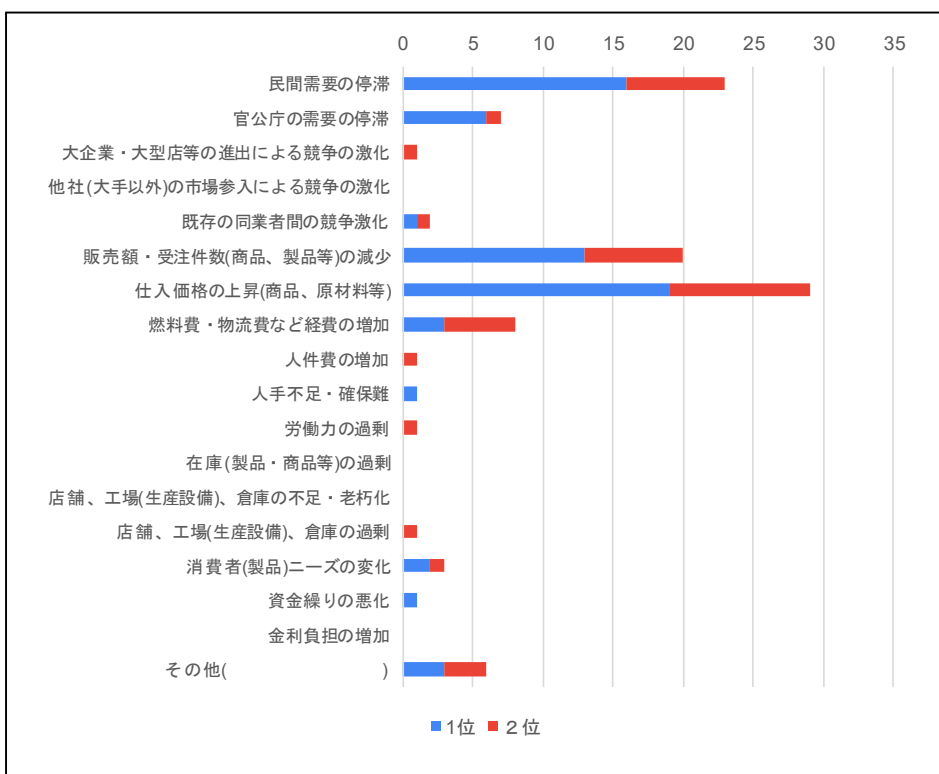
～景況が好転・増加した理由～

販売や受注が増加したことで業績が好転しています。



～景況が悪化した理由～

新型コロナウイルスの影響による販売・受注減が大きく影響しています。仕入価格上昇の影響が最上位となっています。



その他の具体的な要因

- ・設備老朽化により作業効率が悪化した。
- ・海外からの電子部品が入ってこなかった。
- ・外出自粛により来客者が大幅に減少した。